“ふるさとちば”のための政策推進を

こうじ　まさかず
# 小路正和県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号　電話043(227)7411

# 津波・防災対策などで要望

## 消防団の活性化など提案も

**いすみ市選出の小路正和（こうじ・まさかず）県議は、6月県議会で早くも3度目の本会議場での質疑に登壇しました。小路県議は冒頭、議場であいさつし、熊本地震の被災者などへのお見舞いの言葉を述べ、外房を代表する形で有料道路の無料化キャンペーンなどで地域の要望を伝えました。小路県議は、防災対策では津波堤防の早期整備を求め、関連して地域の消防団活動の活性化のため、「消防団応援の店」制度の県内への普及などを新提案をしました。地域の課題を幅広く取り上げた小路県議の主な質疑を特集しました。**

本会議場の壇上であいさつする小路議員

### 小路議員あいさつ

先般発生した熊本地震で被災された皆さん、犠牲者の皆さんに心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。合わせて、被災地に対しての支援活動の中で、事故に見舞われた方もいます。被災地の力になりたい一心で活動されていた中でのことですので、1日も早い回復をお祈りする次第です。

また、サーフィンを千葉に、外房に誘致することは大切なことですが、そのことと同じくらい大切なことは、千葉県、とりわけ外房エリア一丸となって盛り上げること、そして、オリンピック・パラリンピックを契機に周辺地域の発展につなげることこそが、重要だと考えます。そのような観点から、県の積極的なリーダーシップを強くお願い申し上げます。

外房の活性化に伴うことで、一つ残念なことがあります。有料道路の無料化キャンペーンについてです。先日の代表質問でも取り上げていましたが、想定していた国の交付金が削られてしまったことは、大変残念なことです。県予算のやり繰りで何とか実施してくださるとのことで、ありがたいことではありますが、やはり縮小された感があり、これについては今後、もっときっちり対応していただければと思っています。

外房・九十九里地域は、やはり夏です。今後、十二分に調査・検討いただき、来年からは昨年度の規模での支援策の復活を要望するところです。

## 津波対策で堤防を

**小路議員**　初めに防災対策について伺います。夷隅川河口及び周辺海岸における津波対策として、堤防整備などのハード対策が必要と考えるが、どうか。

**県土整備部長**　県では、平成25年11月に「千葉県沿岸海岸保全基本計画」の見直しを行い、数十年から百数十年の頻度で来襲が想定される発生頻度の高い津波を考慮し、海岸保全施設の高さの目安を設定しています。

今後、この計画に基づき、いすみ市域沿岸の整備については、九十九里沿岸の津波対策の進捗状況を踏まえ、関係機関と調整を図りながら、対策手法を検討してまいります。

**要望**　**いすみ市域、あるいは南房総等々を含めて、1日も早い整備をお願いしたい。**

## 堤防に遊歩道

**小路議員**　津波堤防の整備に合わせて、遊歩道やサイクリングロードの整備はできないか。

**県土整備部長**　県では、海岸整備を実施する際には、海岸ごとに地元市町村が主体で開催する「海岸づくり会議」において、地域住民や関係団体の意見を聞くこととしています。

今後、この会議を通じて、堤防上部の遊歩道やサイクリングロードとしての活用についても検討してまいります。

**要望**　**いすみ市域の海岸線には、もともと半島振興代行道路（海岸観光道路）の計画があったが、進んでいません。堤防、遊歩道、サイクリングロードと合わせて海岸観光道路の検討をお願いしたい。**

## 消防団応援の店

**小路議員**　「消防団応援の店」制度など、市町村が消防団活動を活性化させる取り組みについて、県はどのように支援していくのか。

**防災危機管理部長**　消防団は、地域防災力の要として住民の安全・安心を守るという重要な役割を担っています。近年、団員数が減少していることなどから、消防団活動の活性化が課題となっており、活動意欲を高めるための環境を整える必要があります。

このため、県内の一部の市では、地元の店舗等が団員やその家族に優遇措置を講じる「消防団応援の店」制度を導入するなど、地域全体で消防団活動を支援しようとする動きも出ています。

県では、消防団活動への理解促進や団員の確保に向けて、市町村が行うさまざまな取り組みに対し、地域防災力向上総合支援補助金などにより、引き続き支援してまいります。

**要望**　**地域防災力補助金を引き続き、積極的に県内すみずみまで活用していただきたい。また、応援してもらっている店の方々に、ロゴマークやステッカーのようなものを作ったりして、アピールしたらよいと思っているので、要望します。**

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

小路正和 県議事務所
〒298-0004
千葉県いすみ市大原8654
TEL・FAX 0470-62-5802

# ローカル鉄道を観光面で活用！

## JR外房線「通勤快速、特急」の増発提案

### 6月県議会一般質問に登壇

#### いすみ鉄道

**小路議員**　私の地元、いすみ鉄道は、今年1月に「日本ＰＲ大賞」を受賞し、4月にはテレビ東京の人気番組「カンブリア宮殿」で取り上げられるなど、喜ばしい限りです。メディアによって全国的に紹介されることは、反響も大きく、遠方からも「いすみ鉄道」に乗ってみたいという方が増え、観光的な価値が高まるものと期待しています。

いすみ鉄道など、県内ローカル鉄道の観光面での活用について、県はどのように取り組んでいるのか。

**森田知事**　県では、ローカル鉄道を重要な観光資源として、積極的にＰＲするほか、鉄道会社も県が主催する国内外での商談会などに積極的に参加し、魅力ある旅行商品の開発に取り組んでいるところです。

今年度は、ＪＲのほか、いすみ鉄道などのローカル鉄道、さらには市町村や民間事業者とも連携して、県内を自由に周遊できるフリーパスを造成することとしており、ローカル鉄道の魅力を活用した新たな観光需要の掘り起こしを始めてまいります。

また、ローカル鉄道駅周辺の観光公衆トイレや観光案内板等の整備に対しても助成を行い、観光客の満足度を高める取り組みも支援してまいります。

自席から再質問する小路議員

#### 農業後継者の確保策

**小路議員**　いすみ市の農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化や後継者不足、さらには遊休農地の増大など、厳しさを増しており、大きな課題になっています。県は、農業後継者の確保にどのように取り組んでいるのか。

**農林水産部長**　本県農業を維持発展させていくためには、農家の後継ぎはもとより、非農家の就農希望者や定年退職者なども地域農業を支える担い手として位置付け、幅広く人材を確保していくことが重要です。

このため県では、農業高校等と連携した就農啓発活動や農業大学校における実践的な農業教育、就農直後の青年や定年帰農者を対象としたセミナーの開催などにより、若者をはじめ多様な農業後継者の確保・育成に努めております。

また、平成24年度に始まった青年就農給付金制度の活用などにより、10年前に比べて約2倍の年間４００名の方々が県内で新たに就農しており、今後も本県で農業を始めた方が地域に根付いて活躍できるよう、個々の経営実態に即したきめ細かい支援に努めてまいります。

#### 外房線の利便性向上

**小路議員**　外房線の利便性向上に向けたダイヤ改正や快速の増発、運行区間の延伸についてどう取り組むのか。

**総合企画部長**　外房線は、沿線自治体から、通勤、通学時間帯における普通及び快速列車の増発車両の増結、茂原駅や上総一ノ宮駅を発着する快速列車の安房鴨川駅への延伸など、利便性向上を望む声があります。

このため県では、毎年度、県と県内市町村等で組織する「千葉県ＪＲ線複線化等促進期成同盟」を通じ、ＪＲ東日本に対し、ダイヤ改正や施設整備等、利便性向上を要望しているところです。

この結果、今年3月のダイヤ改正により、外房線については、夕方の帰宅時間帯の列車について、車両が増結されたほか、土曜・休日に列車が１本増発されるなど、改善が図られたところです。

**要望**　**ＪＲ外房線について、平日の通勤快速や通勤特急の復活をお願いしたい。また、昔走っていた東京や千葉方面からの快速「白い砂」について、シーズンあるいは週末の復活を要望します。**

**圏央道茂原長南ＩＣ及び長生グリーンラインへのアクセス道路として、「南房広域農道」とその延長の道路の「県道昇格」をお願いしたい。**

#### キョンの駆除対策

**小路議員**　県はキョンをはじめとする鳥獣駆除対策にもっと積極的に取り組むべきと思うがどうか。

**環境生活部長**　県はこれまで、市町村が行う有害鳥獣の捕獲事業を推進するため、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルを対象に補助金を交付してきました。平成27年度からは、生息数が増加しているキョンをはじめ、農作物等の被害が増大しているハクビシン及びアライグマを新たに補助対象としたところです。

キョンについては、生活被害等の防止に向けて、生息数の減少を図る必要があることから、これまでも狩猟鳥獣として指定されるよう国に対して要望してきたところであり、引き続き働きかけを行ってまいります。

**要望**　**成田空港にアンテナショップを開設するなどして、ローカル鉄道のＰＲも含め、県内観光のＰＲを図ってほしい。また、いすみ鉄道への支援・指導を引き続きお願いしたい。**

#### 災害時医療体制の整備

**小路議員**　いすみ市周辺の災害医療体制の整備について、県はどのように考えているのか。

**保健医療担当部長**　県では、災害時に重症患者を受け入れ、広域的な医療救護活動の拠点となる災害拠点病院を指定しており、いすみ市周辺では、亀田総合病院、千葉循環器病センター、東千葉メディカルセンターが指定されています。

また、県では、地域の自治体、消防、警察及び医師会などによる地域災害医療対策会議を毎年開催しており、夷隅地域においても同会議を活用し、災害時におけるそれぞれの役割や連絡体制等を協議し、災害医療体制の整備を進めてまいります。

**要望**　**現在いすみ市内に不在の災害拠点病院に「いすみ医療センター」を指定してもらいたい。**

### 小路議員の質問項目

❶防災対策について
❷医療問題について
❸県内ローカル鉄道の観光面での活用について
❹夷隅地域の交通網について
❺農林水産業の振興について
❻鳥獣駆除対策について
❼大原高校の魅力ある学校づくりについて
❽その他

### 小路議員のその他の要望

●ジビエの6次産業化と革製品の活用（駆除、加工、流通）
●漁業再生のため、浜の活力推進プランを積極活用
●大原高卒業生の地元就職支援システムの確立